

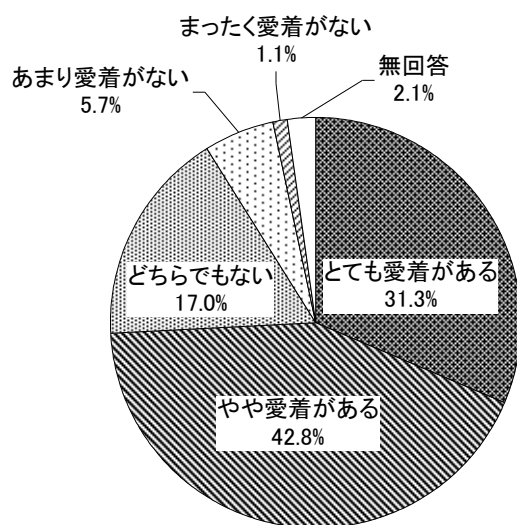
4 栃木県への愛着と誇りについて

(1) 栃木県に対する愛着

問11 あなたは、「栃木県」に対してどの程度愛着を感じていますか。次の中から1つ選んでください。

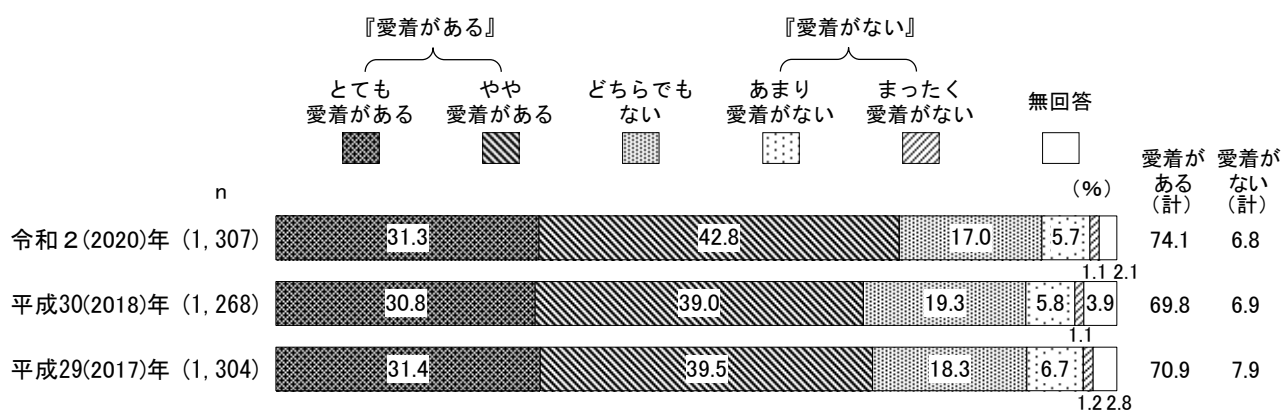
[n=1,307]

1	とても愛着がある	31.3%	4	あまり愛着がない	5.7%
2	やや愛着がある	42.8%	5	まったく愛着がない	1.1%
3	どちらでもない	17.0%		(無回答)	2.1%



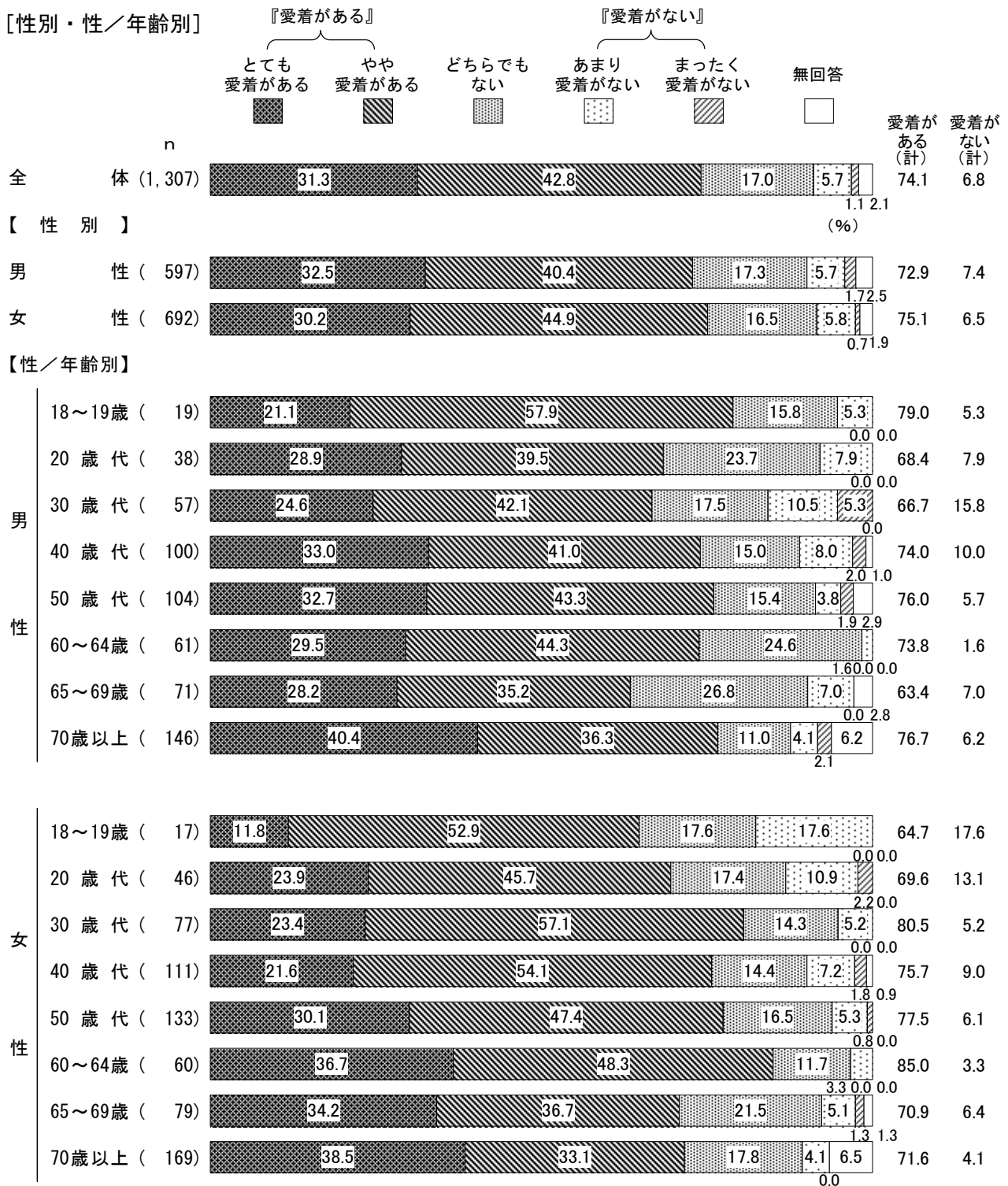
(n=1,307)

全体で見ると、「とても愛着がある」(31.3%)と「やや愛着がある」(42.8%)の2つを合わせた『愛着がある』(74.1%)が7割半ばと高くなっている。一方、「あまり愛着がない」(5.7%)と「まったく愛着がない」(1.1%)の2つを合わせた『愛着がない』(6.8%)が1割近くとなっている。また、「どちらでもない」(17.0%)が2割近くとなっている。



過去の調査結果と比較すると、『愛着がある』が平成30(2018)年より4.3ポイント増加している。

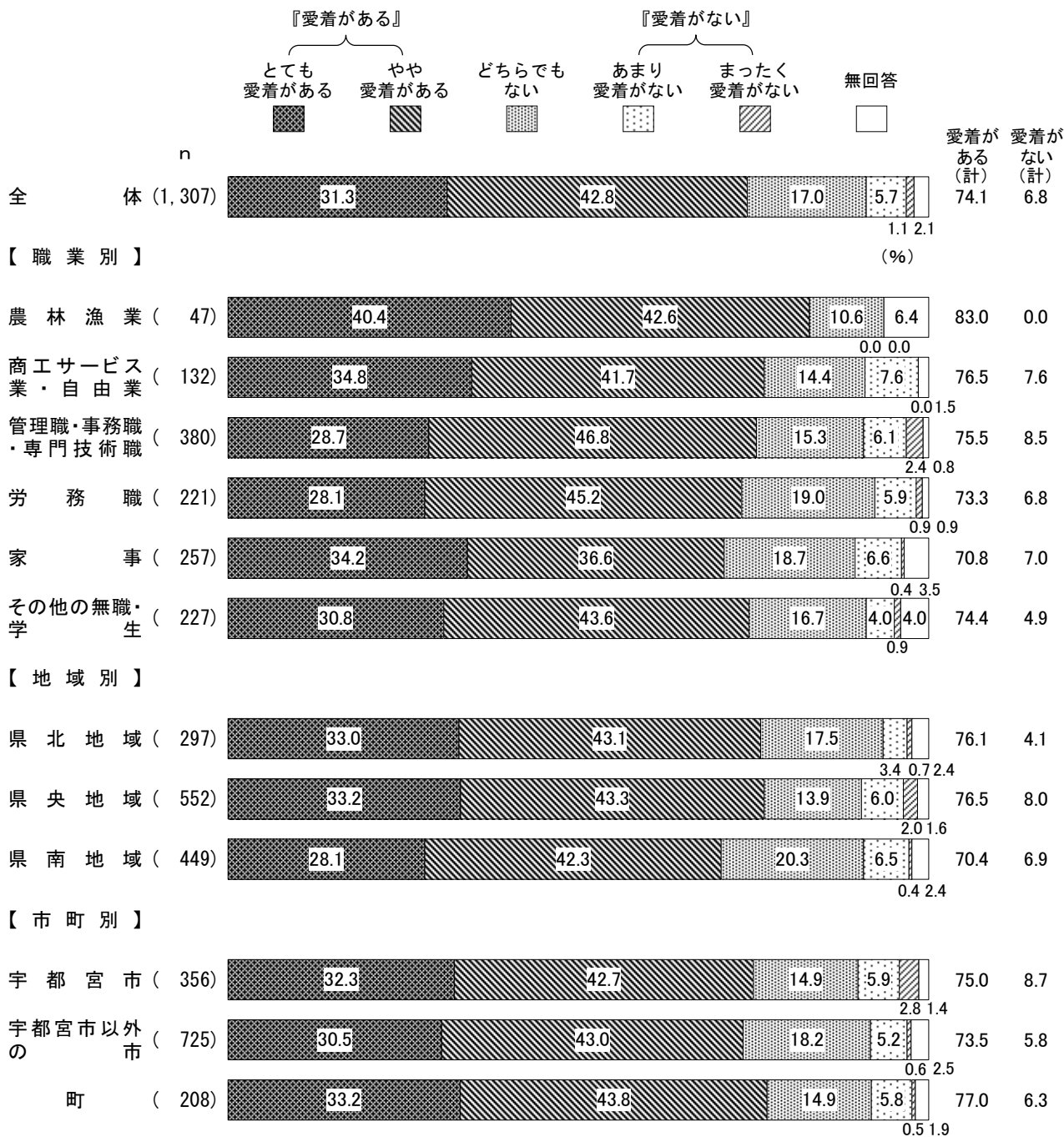
[性別・性／年齢別]



性別でみると、大きな傾向の違いはみられない。

性／年齢別でみると、「とても愛着がある」では〈男性70歳以上〉が40.4%、〈女性70歳以上〉が38.5%と高くなっている。『愛着がある』では〈女性60～64歳〉が85.0%と高くなっている。

[職業別・地域別・市町別]



職業別でみると、『愛着がある』では〈農林漁業〉が83.0%と高くなっている。

地域別でみると、『愛着がある』では〈県央地域〉が76.5%、〈県北地域〉が76.1%と高くなっている。

市町別でみると、大きな傾向の違いはみられない。

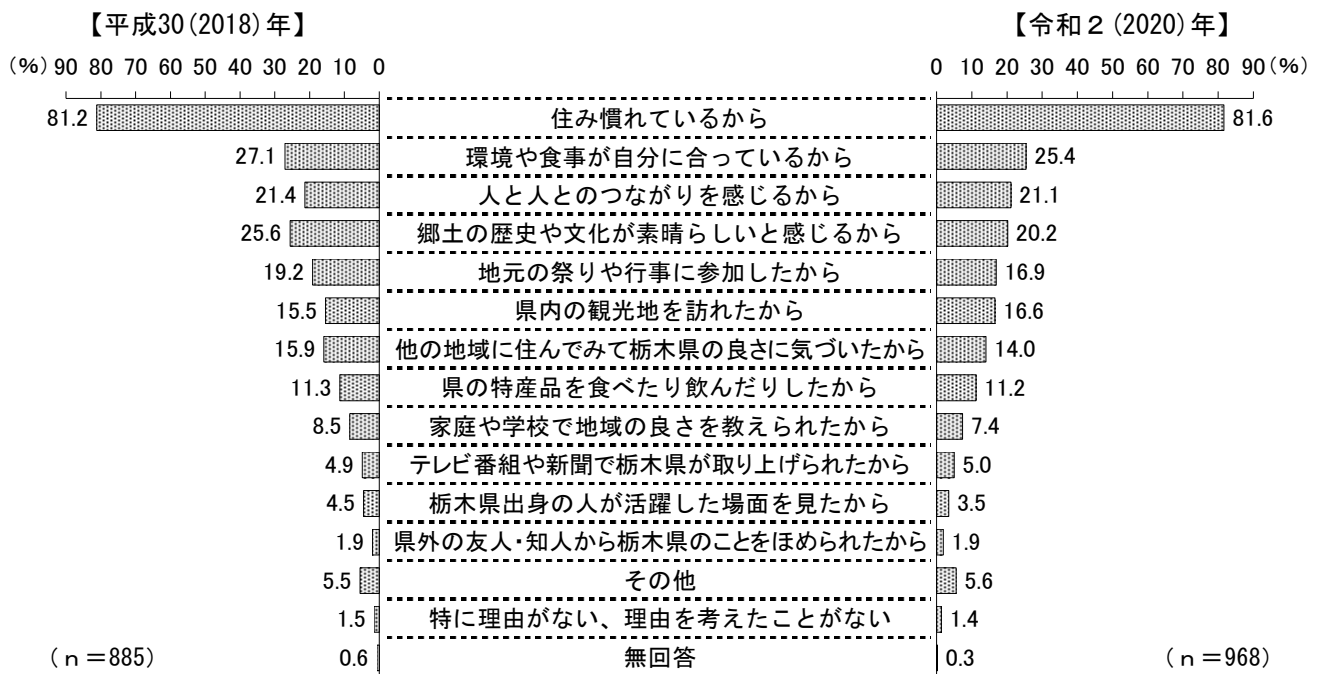
(1-1) 栃木県に愛着を感じる理由

(問11で選択肢「とても愛着がある」、「やや愛着がある」を選んだ方のみお答えください)

問11-1 あなたが愛着を感じる理由は何ですか。次の中からいくつでも選んでください。

[n=968]

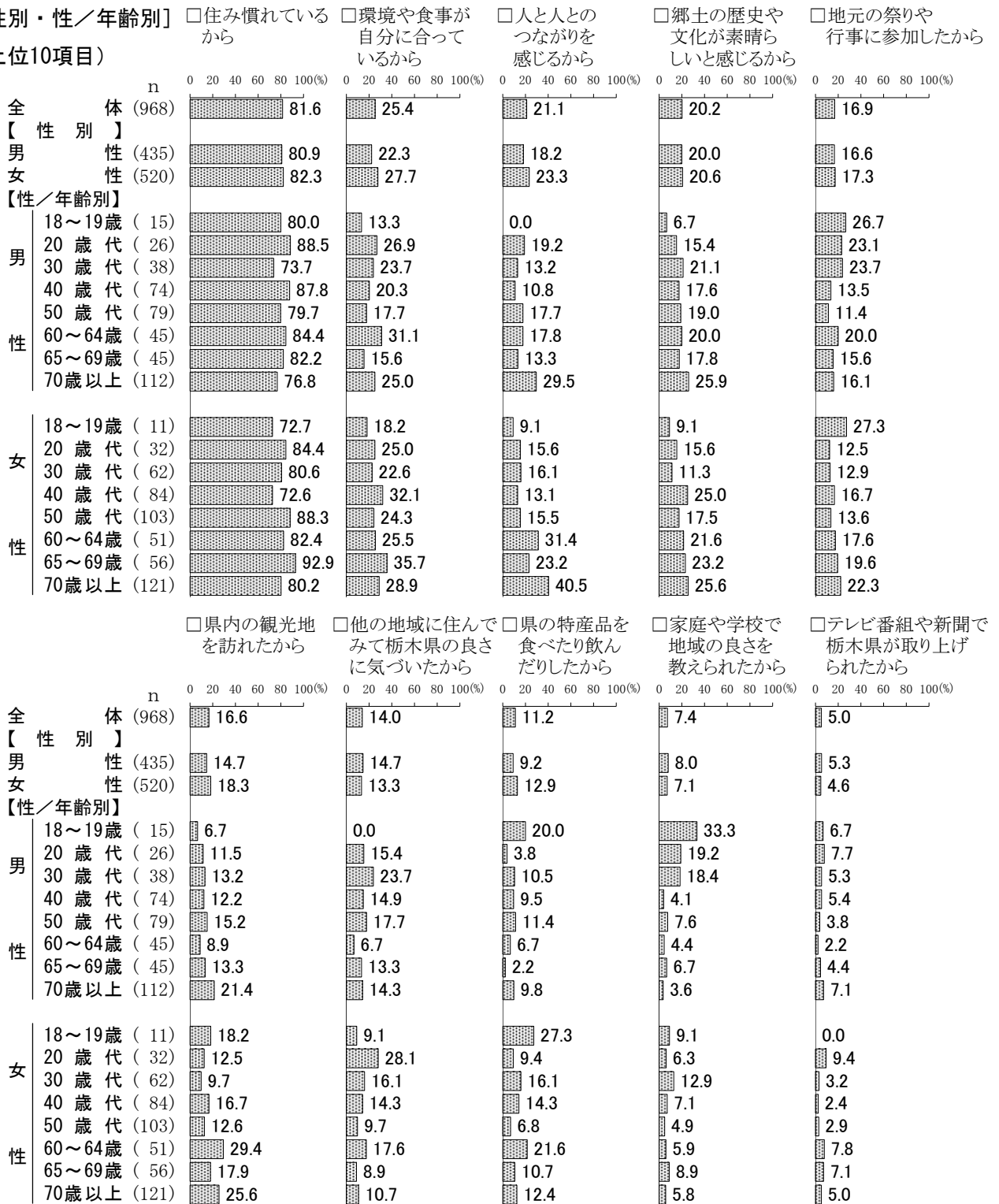
1	地元の祭りや行事に参加したから	16.9%
2	家庭や学校で地域の良さを教えられたから	7.4
3	郷土の歴史や文化が素晴らしいと感じるから	20.2
4	他の地域に住んでみて栃木県の良さに気づいたから	14.0
5	住み慣れているから	81.6
6	人と人とのつながりを感じるから	21.1
7	環境や食事が自分に合っているから	25.4
8	テレビ番組や新聞で栃木県が取り上げられたから	5.0
9	県外の友人・知人から栃木県のことをほめられたから	1.9
10	県内の観光地を訪れたから	16.6
11	県の特産品を食べたり飲んだりしたから	11.2
12	栃木県出身の人が活躍した場面を見たから	3.5
13	その他	5.6
14	特に理由がない、理由を考えたことがない (無回答)	1.4 0.3



全体で見ると、「住み慣れているから」(81.6%)が8割を超えて最も高く、次いで「環境や食事が自分に合っているから」(25.4%)、「人と人とのつながりを感じるから」(21.1%)、「郷土の歴史や文化が素晴らしいと感じるから」(20.2%)、「地元の祭りや行事に参加したから」(16.9%)の順となっている。

平成30(2018)年の調査結果と比較すると、「郷土の歴史や文化が素晴らしいと感じるから」が5.4ポイント減少している。

【性別・性／年齢別】
（上位10項目）

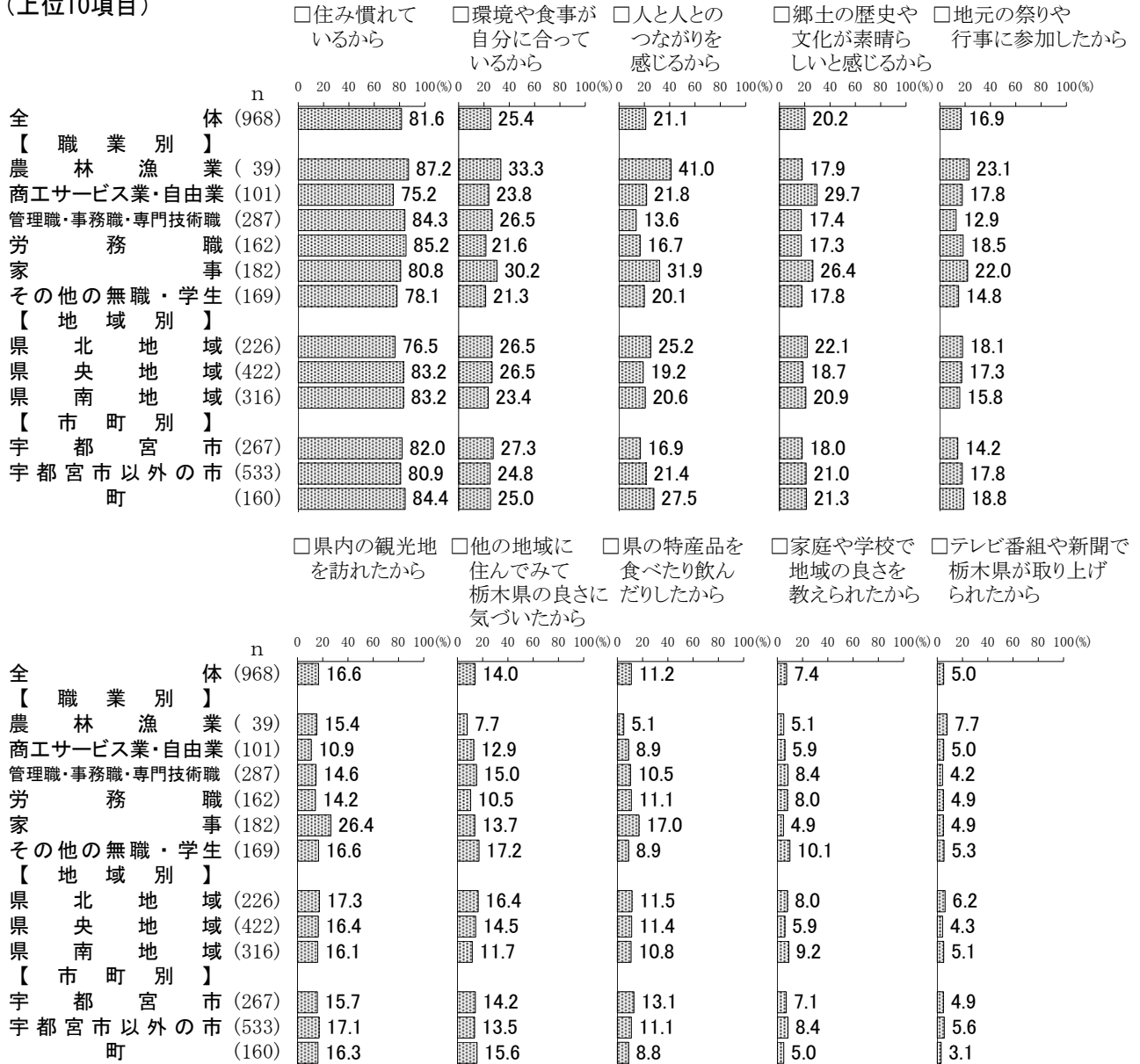


性別で見ると、「環境や食事が自分に合っているから」では〈女性〉（27.7%）が〈男性〉（22.3%）より5.4ポイント高くなっている。「人と人とのつながりを感じるから」では〈女性〉（23.3%）が〈男性〉（18.2%）より5.1ポイント高くなっている。

性／年齢別で見ると、「住み慣れているから」では〈女性65～69歳〉が92.9%と高くなっている。「環境や食事が自分に合っているから」では〈女性65～69歳〉が35.7%と高くなっている。「人と人とのつながりを感じるから」では〈女性70歳以上〉が40.5%、〈女性60～64歳〉が31.4%と高くなっている。「県内の観光地を訪れたから」では〈女性60～64歳〉が29.4%と高くなっている。「他の地域に住んでみて栃木県の良さに気づいたから」では〈女性20歳代〉が28.1%と高くなっている。

[職業別・地域別・市町別]

(上位10項目)



職業別でみると、「人と人とのつながりを感じるから」では〈農林漁業〉が41.0%、〈家事〉が31.9%と高くなっている。「郷土の歴史や文化が素晴らしいと感じるから」では〈商工サービス業・自由業〉が29.7%と高くなっている。「県内の観光地を訪れたから」では〈家事〉が26.4%と高くなっている。

地域別でみると、「人と人とのつながりを感じるから」では〈県北地域〉が25.2%と高くなっている。

市町別でみると、「人と人とのつながりを感じるから」では〈町〉が27.5%と高くなっている。

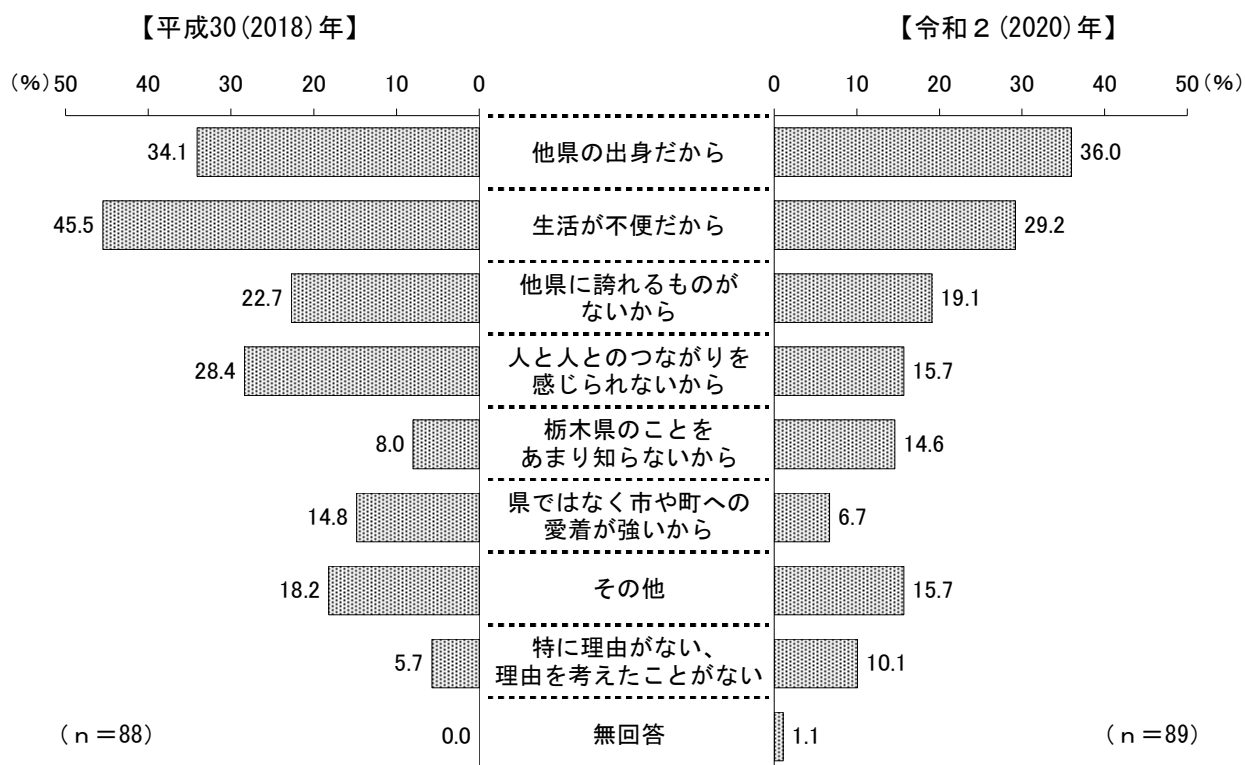
(1-2) 栃木県に愛着を感じない理由

(問11で選択肢「あまり愛着がない」、「まったく愛着がない」を選んだ方のみお答えください)

問11-2 あなたが愛着を感じない理由は何ですか。次の中からいくつでも選んでください。

[n=89]

1	他県に誇れるものがないから	19.1%
2	栃木県のことをあまり知らないから	14.6
3	県ではなく市や町への愛着が強いから	6.7
4	生活が不便だから	29.2
5	人と人とのつながりを感じられないから	15.7
6	他県の出身だから	36.0
7	その他	15.7
8	特に理由がない、理由を考えたことがない	10.1
	(無回答)	1.1



全体で見ると、「他県の出身だから」(36.0%)が3割半ばで最も高く、次いで「生活が不便だから」(29.2%)、「他県に誇れるものがないから」(19.1%)、「人と人とのつながりを感じられないから」(15.7%)、「栃木県のことをあまり知らないから」(14.6%)の順となっている。

平成30(2018)年の調査結果と比較すると、「栃木県のことをあまり知らないから」が6.6ポイント増加している。一方、「生活が不便だから」が16.3ポイント、「人と人とのつながりを感じられないから」が12.7ポイント、「県ではなく市や町への愛着が強いから」が8.1ポイント、それぞれ減少している。

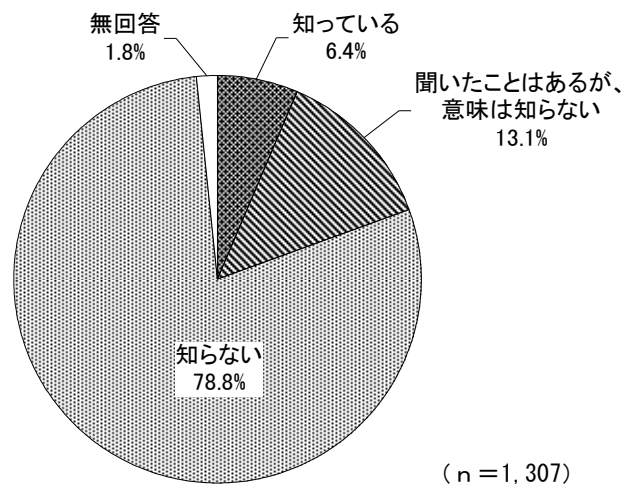
(2) 「VERY GOOD LOCAL とちぎ」の認知度

問12 あなたは、「VERY GOOD LOCAL とちぎ(ベリー グッド ローカル とちぎ)」
(※) というキャッチフレーズを知っていますか。次の中から1つ選んでください。

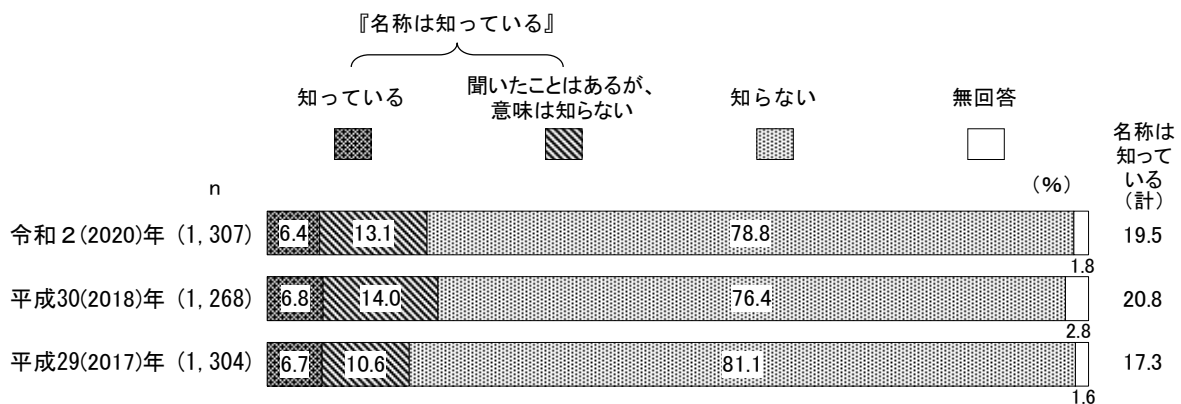
※ 「VERY GOOD LOCAL とちぎ」とは、充実した都市機能とともに、豊かな自然、優れた歴史・文化、人と人とのつながりなど、「ローカル(地方)」の良さを兼ね備えた栃木県の魅力・実力を表現した、とちぎブランド推進のキャッチフレーズです。

[n=1,307]

1 知っている	6.4%
2 聞いたことはあるが、意味は知らない	13.1
3 知らない	78.8
(無回答)	1.8

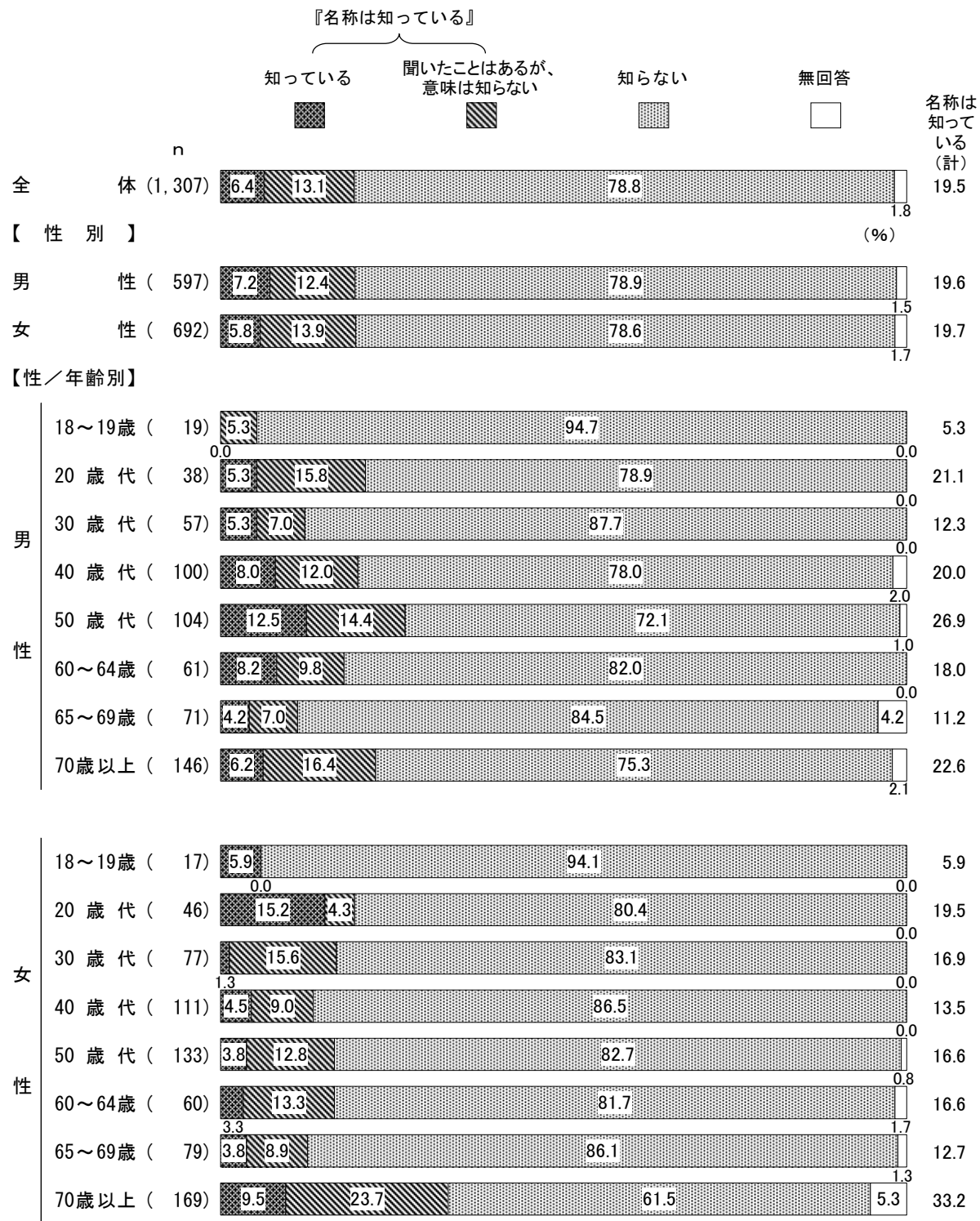


全体でみると、「知っている」(6.4%)と「聞いたことはあるが、意味は知らない」(13.1%)の2つを合わせた『名称は知っている』(19.5%)が2割となっている。一方、「知らない」(78.8%)が8割近くとなっている。



過去の調査結果と比較すると、平成30(2018)年と大きな傾向の違いはみられない。

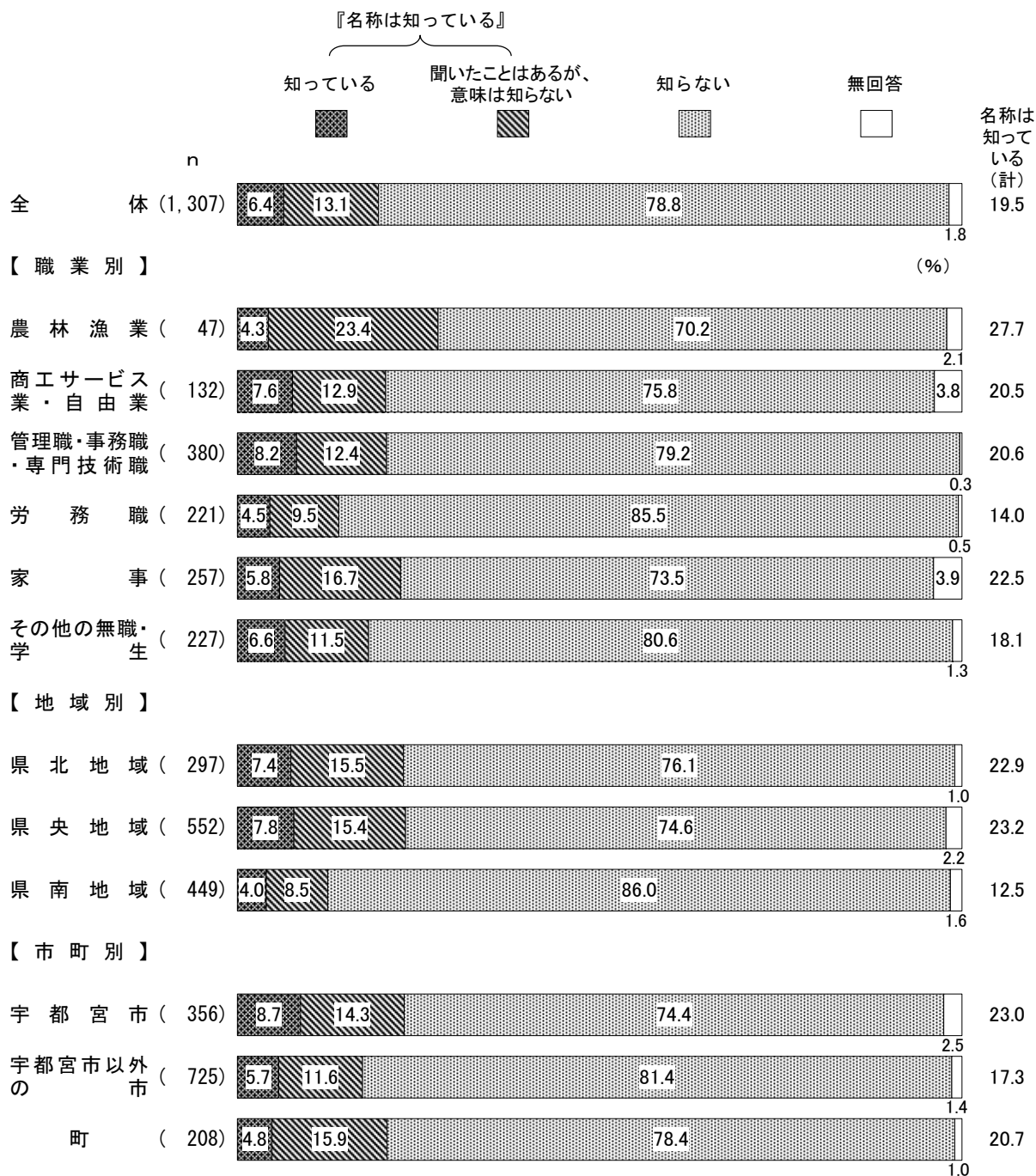
[性別・性／年齢別]



性別でみると、大きな傾向の違いはみられない。

性／年齢別でみると、「知っている」では〈女性20歳代〉が15.2%となっている。『名称は知っている』では〈女性70歳以上〉が33.2%と高くなっている。「知らない」では〈男性30歳代〉が87.7%、〈女性40歳代〉が86.5%と高くなっている。

[職業別・地域別・市町別]



職業別でみると、『名称は知っている』では〈農林漁業〉が27.7%と高くなっている。「知らない」では〈労務職〉が85.5%と高くなっている。

地域別でみると、「知らない」では〈県南地域〉が86.0%と高くなっている。

市町別でみると、「知らない」では〈宇都宮市以外の市〉が81.4%と高くなっている。